

資料編

1 住民アンケート調査の主な結果

住民の王寺町への意見をうかがい、住民ニーズを把握するとともに、成果指標を測定し、「王寺町総合計画後期基本計画」の策定に反映していくために、住民アンケートを実施しました。

【調査概要】

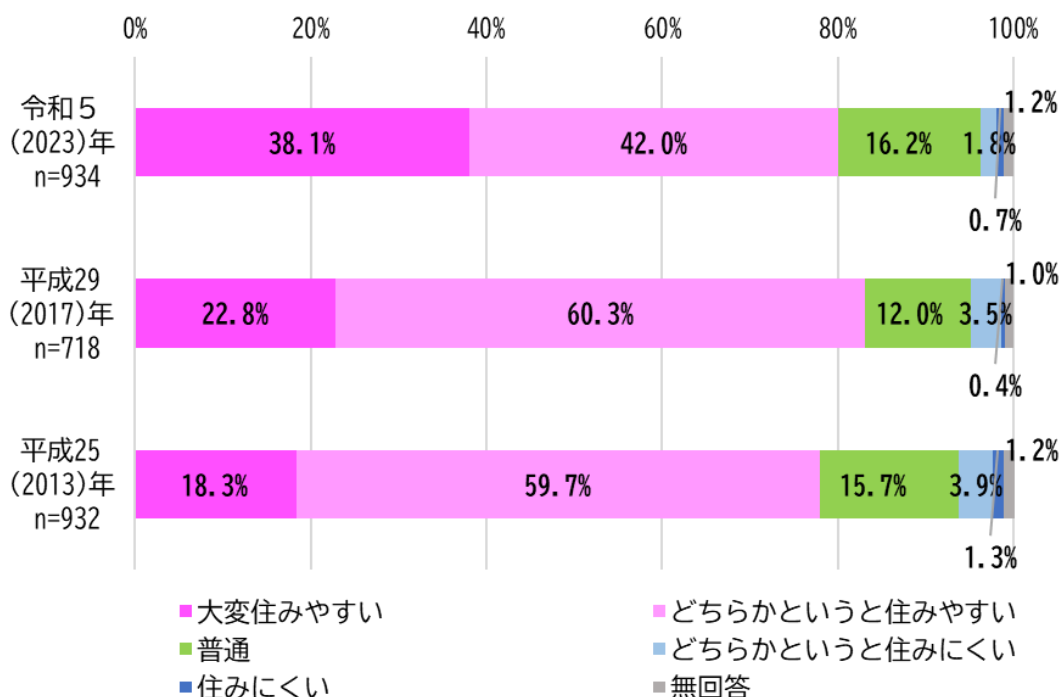
- 調査対象者：王寺町内在住の18歳以上の住民
- 抽出方法：住民基本台帳より無作為に2,000人を抽出
- 調査方法：郵送配布による。回答方法は、アンケート用紙への記入のほか、インターネットでの回答も可能とした。
- 調査期間：令和5年1月10日（火）発送、令和5年1月27日（金）締切
- 回収結果：

配布数	回収数	回収率
2,000件	934件 (内インターネット回答196件)	46.7%

【主な結果】

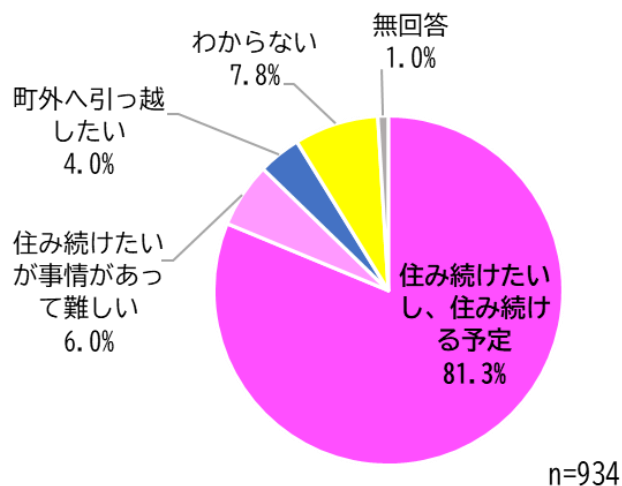
① 王寺町の住みやすさ

「大変住みやすい」が38.1%で最も多く、「どちらかという住みやすい」42.0%と合わせると、8割の方が住みやすいと回答しています。過去の調査と比較すると、「大変住みやすい」の割合が平成25年、平成29年から増加しています。



② 王寺町に住み続けたいと思うか

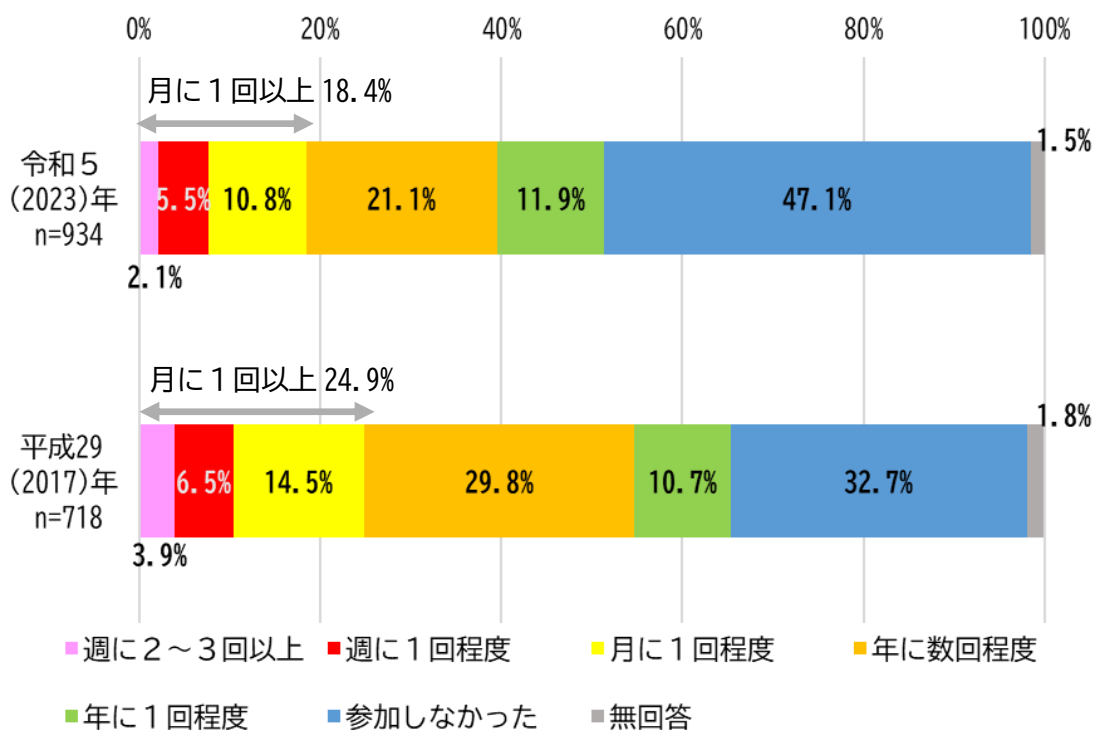
「住み続けたいし、住み続ける予定」が81.3%と、多数となっています。



n=934

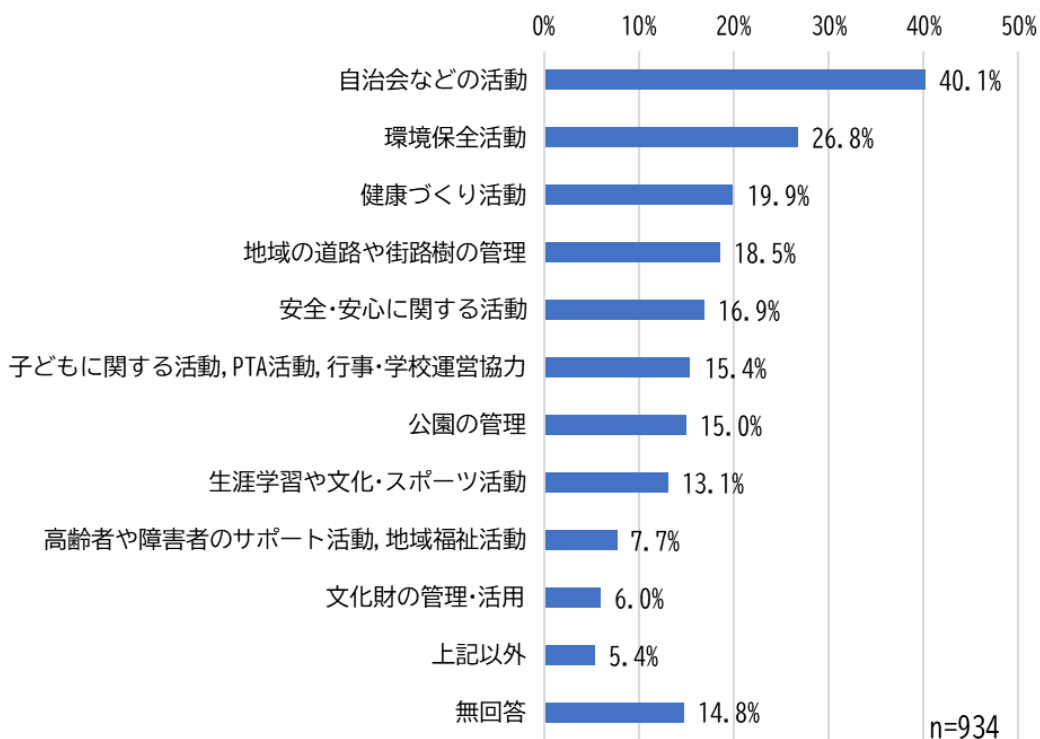
③ 地域活動への参加

地域活動について、「参加しなかった」が47.1%と最も多く半数近くを占めています。次いで、「年に数回程度」21.1%、「年に1回程度」11.9%となっています。平成29年調査と比較して「参加しなかった」人の割合が大きく増加しています。これはコロナ禍により、地域活動自体が中止や規模縮小を余儀なくされることが影響していると考えられます。



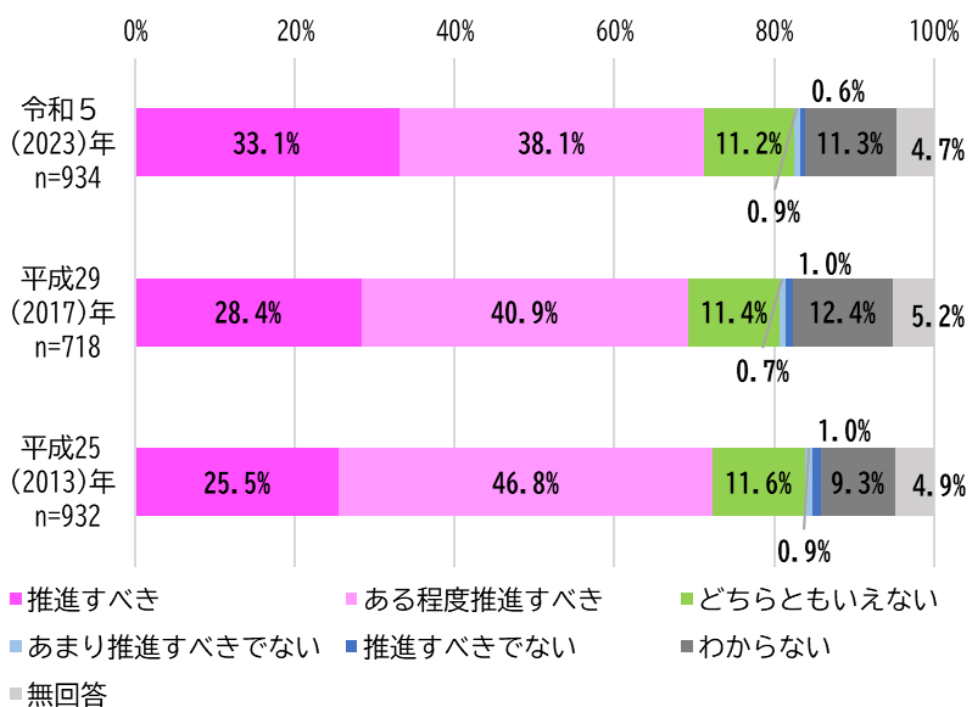
④ 取り組める地域活動

「取り組めると思う」活動について、「自治会などの活動」が40.1%と最も多く、次いで、「環境保全活動」26.8%、「健康づくり活動」19.9%、「地域の道路や街路樹の管理」18.5%、「安全・安心に関する活動」16.9%、があげられています。



⑤ 協働によるまちづくりについて

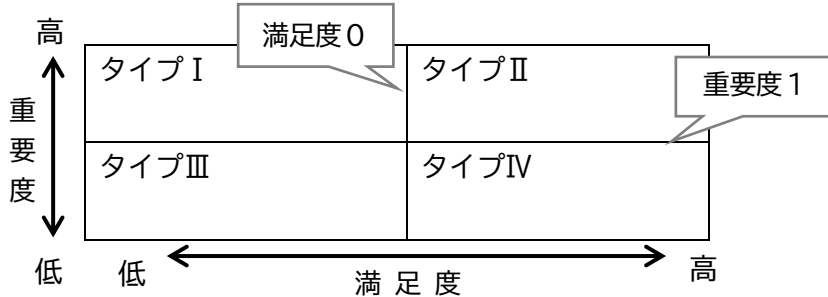
協働によるまちづくりについて、「推進すべき」33.1%と、「ある程度推進すべき」38.1%を合わせた、成果指標「協働のまちづくりを推進すべき」と回答した人の割合は71.2%となりました。過去の調査と比較して、「推進すべき」の割合が増加しています。



⑥ 王寺町の取組についての評価

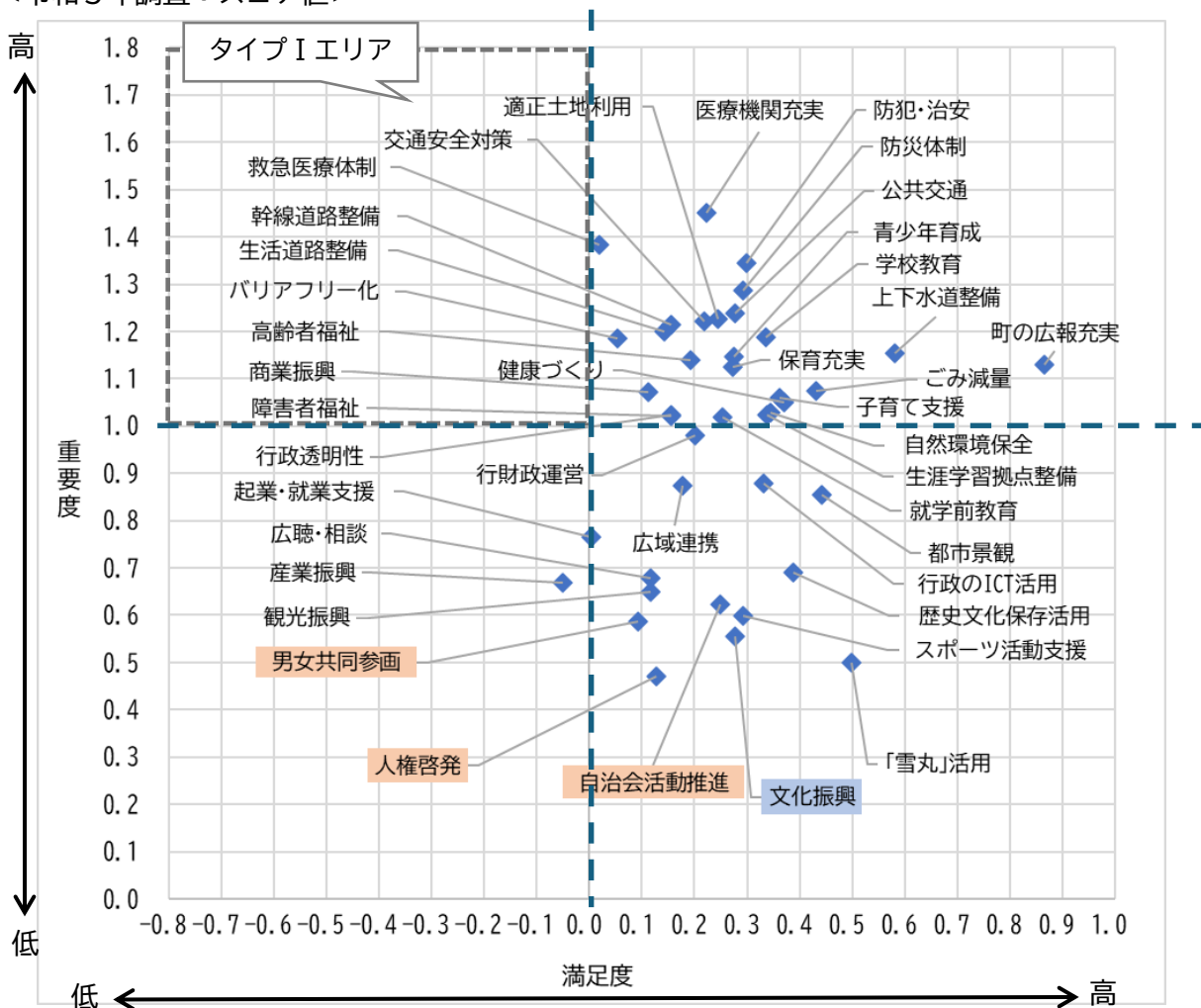
王寺町の取組について、現在の満足度と今後の重要度の回答結果をスコア化し分析しました。「人権啓発」「男女共同参画」「自治会活動推進」「文化振興」は、さらに住民の意識を高める取組が必要です。

回答肢	満足度	とても満足している	ある程度満足している	普通	あまり満足していない	全く満足していない
	重要度	とても重要である	ある程度重要である	普通	あまり重要ではない	全く重要ではない
スコア値		+2点	+1点	0点	-1点	-2点



タイプⅠ	満足度が低いが、重要度は高くなっている。今後の重点課題として取組の推進が必要なタイプ。
タイプⅡ	満足度が高く、重要度も高くなっている。事業の継続実施が必要なタイプ。
タイプⅢ	満足度が低く、重要度も低くなっている。満足度及び重要度の低さについて検証が必要なタイプ。
タイプⅣ	満足度が高いが、重要度は低くなっている。施策の充実によりある程度満足度が高いタイプ。

<令和5年調査：スコア値>



2 王寺のこれからを話し合う「町民ワークショップ」の開催

「王寺町総合計画後期基本計画」の策定に向けて、住民の方の意見や地域の課題を把握するため、王寺のこれからを話し合う「町民ワークショップ」を3つのエリアに分けて開催しました。

【開催概要】

エリア	日時・場所	参加者数
①北エリア(舟戸・王寺・久度・葛下)	10/1(土) 10~12時 やわらぎ会館 4階 多目的ホール	26名
②中央エリア(本町・元町・藤井)	10/1(土) 14~16時 いずみスクエア 2階 会議室	20名
③南エリア(南元町・畠田・明神・太子)	10/2(日) 10~12時 文化福祉センター 2階 会議室	30名

参加者数合計 76名

【ワークショップで出た意見の概要】

① 北エリア(舟戸・王寺・久度・葛下)

わがまちのこれから

“つながりのあるまち”

“赤ちゃんからお年寄りまで明るく楽しく暮らすまち”

- *若い世代の地域活動への参加
- *様々な世代が関われる機会、場づくり
- *誰でも乗れる地域バス、高齢者の足になるデマンドタクシー
- *子どもたちがのびのびできる環境
- *多様なイベントをきっかけとしていろいろな人との交流を増やす

“職住近接のまち”

- *空家・空店舗活用(お店作りやアート)
- *新しいチャレンジ(貸事務所)を応援するまち



② 中央エリア(本町・元町・藤井)

わがまちのこれから

“「互近助」があるまち”

- *地域のいろんな人材を学校サポーターとして活用
- *気軽に相談できる窓口(例:LINEで相談できる)。役場職員だけでなくボランティアで相談員を募る。
- *現状に即した柔軟な避難体制
- *顔見知り程度でもいざという時は協力
- *わんわんパトロールを進めたい

“若い人が住み、活躍できるまち”

- *子どもと親も一緒に参加するイベントや地域活動
- *いろんな世代と交流できる機会(イベント等)をつくる
- *子どもが遊べる公園などの遊び場所をつくる

“住み続けられるまち”

- *日々の移動で困らないシステムづくり(町内循環コミュニティバス、デマンド交通)
- *地域で手入れしながら自然を残していく
- *空き家の有効活用、マッチング
- *歴史的文化財・祭り、古きよきもの(太子道など)を次の世代に伝えていきたい



③ 南エリア(南元町・畠田・明神・太子)

わがまちのこれから

“世代間をこえて、つながる、集える、顔が見えるまち”

- *気軽に声掛けできる近所づきあいで、何かあった時も声をかけやすく気づきやすい地域に
- *子育て世代のつながり、子育て広場増加
- *異なる世代の人が話せる場を増やす(若い人、高齢者も楽しめる、集えるイベント、機会、場)
- *高齢者と若年世代が互にサポートできるしくみ(高齢者は子どもの見守り、若い人は高齢者の見守り活動)
- *車に乗らなくても住みやすい地域内の交通の充実(コミュニティバス、無人タクシー、電動カート)
- *高齢者が多い地区に移動販売

“自然に囲まれたまち”

- *自然を生かす(自然の維持、農家の維持)
- *みんなで農園(作る楽しみと共助)
- *まちづくり協議会で森のピザ屋(地域食堂)運営
- *王寺町の間伐材で薪ストーブ
- *オリーブ特産品で町おこし
- *水害に限らず様々な災害に対応できる体制づくり

“住む、働く以外でも来たくなるまち”

- *空き家を活用してお店・カフェなど、大阪に近いのを活かした使い方、出店したい人を募る形
- *空き家をリフォームして店舗や作業場に活用、地域で運営、色んな人でシェア
- *町を出ている人も、必ず参加しに戻ってきたいイベント



3 策定経過

年 月 日	項 目
令和2年 2月25日	第1回総合計画審議会(兼 総合戦略懇話会)【第2期総合戦略策定】
令和3年11月 2日	第2回審議会(兼 懇話会)【効果検証】
令和4年 8月17日	第3回審議会(兼 懇話会)【効果検証】
10月1日・2日	王寺のこれからを話し合う「町民ワークショップ」開催
11月24日	第4回審議会(兼 懇話会)【諮問、町民ワークショップ報告、住民アンケート】
令和5年 1月	王寺のこれからを考える「住民アンケート調査」実施
3月27日	第5回審議会(兼 懇話会)【住民アンケート調査結果】
6月27日	第6回審議会(兼 懇話会)【効果検証(最終)】
9月19日	第7回審議会(兼 懇話会)【基本計画素案 基本目標1~3】
9月26日	第8回審議会(兼 懇話会)【基本計画素案 基本目標4~6】
10月24日	第9回審議会(兼 懇話会)【基本計画素案の修正案】
11月14日	第10回審議会(兼 懇話会)【基本計画素案の修正案】
11月~12月	パブリックコメント(意見公募)実施
令和6年 1月23日	第11回王寺町総合計画審議会【パブリックコメント結果、答申】



答申書の手交

4 王寺町総合計画審議会（兼 総合戦略懇話会）委員名簿

氏名	役職名	備考
沖 優子	王寺町議会議長	
中井 一喜	王寺町議会議員	
中川 幾郎	帝塚山大学名誉教授	会長
直田 春夫	NPO政策研究所理事長	会長職務代理者
井村 知次	王寺町自治連合会会長	
黒田 ゆかり	王寺町社会福祉協議会理事	
古林 葉二	南都銀行王寺支店長	
佐野 純子	王寺町観光協会アドバイザー	
長岡 雅美	奈良テレビ放送㈱代表取締役社長	
東中 有紀	前 王寺町教育委員会教育委員	
平岡 秀隆	王寺町副町長	
福井 伊佐男	王寺町商工会会長	
森 正治	王寺町C I O補佐官	
池田 満津子	公募委員	
横山 奉典	公募委員	

(令和6年1月23日答申時、順不同、敬称略)

5 諮問・答申

【諮問】

王 政 第 5 0 2 号
令和4年11月24日

王寺町総合計画審議会(兼 総合戦略懇話会)
会長 中川 幾郎 様

王寺町長 平 井 康 之

王寺町総合計画後期基本計画(兼 第3期総合戦略)の
策定について (諮問)

王寺町総合計画後期基本計画(兼 第3期総合戦略)の策定にあたり、王寺町総合計画審議会条例第2条の規定に基づき、貴審議会の意見を求めます。

【答申】

令和6年1月23日

王寺町長 平井 康之 殿

王寺町総合計画審議会(兼 総合戦略懇話会)
会長 中川 幾郎

王寺町総合計画後期基本計画(兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略)について
(答申)

令和4年11月24日付王政第502号で諮問のあった王寺町総合計画後期基本計画(兼 第3期総合戦略)について、本審議会として慎重に審議を行った結果、別添の王寺町総合計画後期基本計画(兼 第3期デジタル田園都市構想総合戦略)案のとおり結論を得ましたので答申いたします。

なお、基本計画の推進にあたっては、下記の事項に十分配慮されるよう、要望いたします。

- 1 協働のまちづくりの推進のため、あらゆる事業において参画と協働を意識するとともに、参画・協働の基盤となる「まちづくり協議会」の設立に向け、体制の整備や機運醸成に努められたい。
- 2 デジタル化など社会潮流の変化に敏感に対応し、能率的で効果的な事業の実施に努められたい。
- 3 本計画を実行性のあるものとするため、毎年度、効果検証を行うとともに、その結果を踏まえ、見直しが必要となる場合は改定を行うなど、計画・実施・評価・改善からなるPDCAサイクルを確立するよう努められたい。
- 4 本計画の趣旨と内容をできるだけ多くの町民に周知し、理解を促進されるよう努められたい。